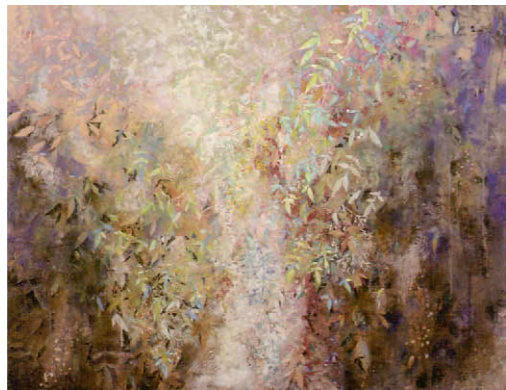


第42回日春展 日展日本画部春季展【大阪展 大丸ミュージアム心斎橋 2007.5.9(水)~14(月)】

日本画コース学生2名が入選しました。



入選 「浮くように」石川澄美 (日本画 3年)



入選 「ほろそく」梶原美紀 (日本画 3年)



乾」西敏彦 (日本画修復講師)



「山池静秋」曲子明良 (会員・日本画コース教授)



朝」福本達雄 (委員・社会人大学院教授)



ワジュマル」山田毅 (日本画コース講師)

美術学科 嶋本昭三教授らが中国から来日した李小林氏と対談されました。

去る2007年2月25日~3月2日に、前中国国家主席李先念のお嬢さんである李小林氏(中国対外友好協会の副会長・中国友好平和発展基金理事長)一行が来日され、7月2日から3日にかけて北京で行われる第一期大型中・日障害者芸術展に向け、同展覧会に協力している宝塚造形芸術大学を訪問されました。

嶋本教授と宓冬瑩講師が一行に同行し、宝塚造形芸術大学学長、副学長、兵庫県知事、大阪市長、神戸市長、西宮市長、大阪商工会議所会頭などを表敬訪問、また関西企業家代表とも会談が行われました。



エスパスフェリシモ美術館でのパフォーマンスの様子



3月1日には、エスパスフェリシモ美術館(神戸市)で嶋本昭三教授(第一期大型中・日障害者芸術展日本側代表)が盛大な歓迎パフォーマンスを披露し、本学美術学科学生らもパフォーマンスに参加しました。宓冬瑩講師(中・日障害者芸術展企画者)は歓迎会の司会を務めました。

宓冬瑩講師が富山で展覧会を開催

富山県南砺市福光公民館 2007.3.24(土)~25(日)



100円の龍の作品の他、花鳥風景画作品20点ほどが展示されました。また、24日の講演会(テーマ:芸術を通じての日中交流)では水墨画のパフォーマンスを披露し、北日本新聞や富山新聞など地元新聞で紹介されました。



本学梅田キャンパスにて 李小林氏(右から2番目)嶋本教授(中央)嶋本副学長(右端)



宝塚キャンパスにて、対談の様子



本学の学生と李小林氏

宝塚造形芸術大学展【美術学科 第1期卒業制作展・春の造形展】

美術学科 第1期卒業制作展と春の造形展の合同美術展「宝塚造形芸術大学展」が大阪市立美術館で開催されました。2007.2.20(火)~2.25(日)



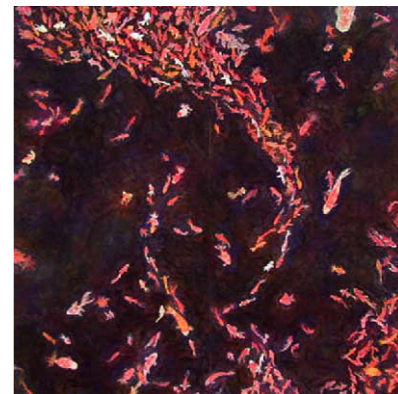
卒業制作賞



「寶塔寺金欄巻きの研究」 四元晴美 (美術史・美術理論 4年)



「co brs session」 竹下泰裕 (洋画 4年)



金魚 彩色(いろいろ) 牧野菜生 (日本画 4年)



なぜ我々は存在するのだろうか? 2 中村享史 (彫刻 4年)

卒業制作奨励賞



無題」 木村俊介 (洋画 4年)



女」 新谷友佳子 (洋画 4年)



午後」 田原麻衣 (日本画 4年)



秋の沼」 田中達也 (日本画 4年)



我」 高田治 (彫刻 4年)



自由」 島津功 (彫刻 4年)

卒業制作佳作

【美術史 美術理論】
無題 野邑正吉作油彩画
修復研究「理論と実践」 椎木拓哉 (4年)

【洋画】
贈えゆくものと減りゆくもの 増田舞子 (4年)
誰ソ彼 5」 加藤康明 (4年)
「non conceptualize」 権基英 (4年)
百」 中山朋 (4年)
神秘的」 土本愛子 (4年)
イト」 八木智弘 (4年)

【日本画】
「見据える先へ」 松宮淳美 (4年)
ひまわり2号」 岩城明日香 (4年)

【彫刻】
幻想を抱いたまま僕は...」 柳下町祥吾 (4年)
寄生」 菊川竜太 (4年)



金賞



寶塔寺本堂中央須弥壇正面頭貫復元図」美術史 美術理論 日本画 共同制作

銀賞



天井画彩色復元 池尻篤志 (2年)



欄間彫刻彩色復元 下園真蓉 (2年)

佳作 津島美希 (3年) 峯森悠 (2年)
李 鈴子 (3年) 濱村礼 (1年)
池尻篤志 (2年)

葛飾北斎筆 全身龍
(原寸模写)
河上千恵 (3年)

金賞



家族写真 判香奈美 (3年)

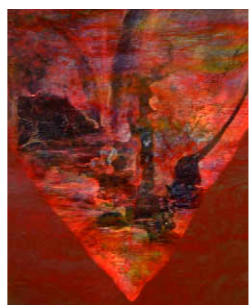


「Through the eyes of God」
熊谷衣里子 (1年)

銀賞



「one more time」山縣 武 (3年)



密 多養麻子 (2年)



懐古趣味ならぬ単なる絵の具
としてそのもの」大澤悠二 (2年)



釜引の滝」食野文子 (2年)

佳作

田中悠香織 (1年) 徳本真由 (1年)
上田菜津美 (3年) 吉村沙耶香 (2年) 二見正大 (1年)
橋谷紀子 (3年) 深田純平 (2年) 豊島 理 (1年)
山下友樹 (3年) 三原加奈子 (2年) 豊島 理 (1年)
村永光昭 (3年) 近藤雄介 (2年) 橋下泰彦 (1年)
安井忠生 (3年) 中島純哉 (1年) 木原皓子 (1年)
鹿野有真 (2年) 藤岡正浩 (1年) 山根聡仁 (1年)



魂合い草観察」田村絵梨子 (3年)



止まない音」眞鍋紗季 (2年)

金賞



微笑みの記憶」熊谷有加 (3年)



「すべり台」
前田南奈 (2年)

銀賞



「G」石川澄美 (3年)



空中遊泳シヨ」増田喜代美 (1年)

佳作

城戸啓吾 (1年) 橋田真季 (1年)
西浦葉月 (3年) 南 和宏 (2年) 宮森優季 (1年)

金賞



「tree in the world」井上豪 (3年)



ひねり」西村大喜 (2年)



ただいま」福山真梨子 (1年)

佳作

小林みちる (3年)

銀賞



闇の城」
堀拓馬 (3年)



絶望自転車」坪田和紗 (1年)



「Last graduation」加世田悠佑 (1年)



器」河田唯 (2年)

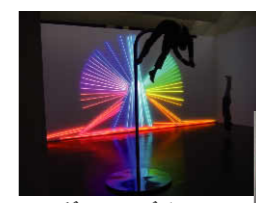
井道夫教授の「パリ美術探訪」レポート (文：井道夫教授)

2007年2月に、6年ぶりに訪れたパリ。それぞれの美術館は新たな息吹に満ちていた。



オランジュリー美術館
昨年改装され、上にあったフロアを取り去り、モネが望んでいた、当初の自然光を取り戻した「睡蓮の部屋」。洗淨された作品は深鮮やかな色彩が蘇り、たおやかに香り立っていた。

モネ 睡蓮の部屋」



ダニエル デイルマン



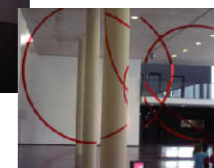
ダビッド・メジゴヴィ

ポンビドー センター
一階の企画展「Le Nuage Magellan(マゼラン雲)」。南半球に輝く銀河系外星雲の名をつけたこの展では、ダビッド・メジゴヴィが、グレーとベージュに塗ったベニヤ板大の色面をランダムに張りめぐらした。その中央に映し出された映像の人々の動きは緩慢で、背景にある車は全て銀紙でおおわれている。展名の伴銀河の名にふさわしく、アウトサイダーの覚めた目で、現世の在りようと疑問を提示して見せた。



フランス美術は、革新と保守の両翼をそなえて、バランスを取りながら飛行する大型機のように健在だった。

マック・ヴァル現代美術館
パリ南部郊外に、一昨年にオープンした現代美術館。美術館を入ったホールに、円の片々が宙に舞ったような形態に不思議な開放感を味わう。ホールを巡って、ある位置に立つた時、円の片々が三つの完全な円になった。フェリチェ・ヴァリーニの作品だ。訪れた日は新しい企画展の初日であった。この展で、ダニエル・デイルマンの自作3点のインスタレーションは、現代の世相と人の接点を表現していて興味深かった。



フェリチェ・ヴァリーニ



ミッシェル・ブラジ

パレ・ド・トーキョー
数多くの興味ある作品を見たが、その中の1点。ミッシェル・ブラジはパリの街角に置かれている大きなゴミ収集ボックスから白い泡を噴出させて固態化。飽食と浪費の現在を提示して見せた。



ケ・ブランリー美術館

エッフェル塔近く、2006年開館し、世界の原始美術を収集したミュージアムは、旧来の民俗学の研究の域を超えて、根源的な人間の表現意欲と生命に満ちていた。

美術学科卒業生 松井コーヘーさんのチャリティー活動です。

松井さんは現在、地球温暖化のため沈み行く島「マーシャル諸島」のエコキャラクター「エンマンくん」やチャリティーブック、JALマーシャル諸島直通便機内ビデオなどの制作を通して、環境問題に取り組んでいます。【松井さんのウェブサイトURL / www.hona-desse.com】



テレビ朝日 緊密な宇宙船 地球号の取材



松井コーヘーさん

マーシャル諸島ゴミ回収ボックス制作について

2007年2月、JALからマーシャル諸島への直通便が初めて飛び立ちました。今迄、20時間かかっていたのが、9時間です。これに合わせて、ホテルや空港などにエコキャラクター「エンマンくん」が目印のプラスチック回収ボックスが設置されました。これは、観光客のゴミ問題の改善とリサイクルのためです。マーシャル諸島共和国公認のエコ事業の一環の一つとして行われています。

回収されたプラスチックは最新の技術を用いて、油に変わります。その他に、エコリゾートを目指しているマーシャル諸島では事前に機内でマーシャル諸島の歴史やエコ活動を放映し、観光客にご協力を募っています。その機内ビデオも「エンマンくん」をはじめ、松井コーヘーワールドが登場します。(文：松井さん)

